

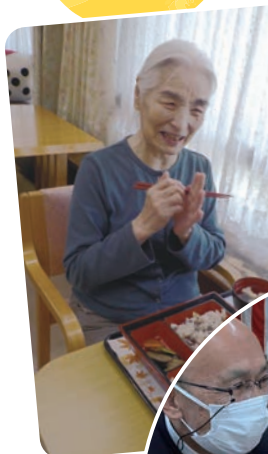


南陽家族 第78号  
発行日:令和5年11月21日  
発行:東京都杉並区高井戸西 1-12-1  
社会福祉法人 浴風会  
介護老人福祉施設グループ  
南陽園:Tel.03-3334-2159 / Fax.03-3334-1745  
第二南陽園:Tel.03-3334-2197 / Fax.03-3334-1748  
第三南陽園:Tel.03-3334-2193 / Fax.03-3334-2198  
編集:浴風会介護施設広報委員会  
発行責任者:南陽園園長 浅井 敬男

広報

# 南陽家族

2023年  
秋号



## 慈雨晴天

気候変動、異常気象、地球温暖化などが言われて久しいですが、私は今年、気候の変動をいつも以上に肌身感じていました。

気象庁によれば、札幌で1876年の気象統計開始以来の最高気温(36.3℃)を記録し、全国では気温35度以上の猛暑日が過去最多の38地点で観測されたとのこと。

今年の11月の東京では、平均気温も初旬時点で5度も上昇しており、最高気温が26度の日があったかと思えば、急に12月の寒さになったり、春や秋が一瞬で過ぎ去り、夏や冬になる感じがです。日本は四季が二季になるのではという人もいます。

子供の頃、常夏の国に憧れていましたが、年を重ねると、「四季」の素晴らしさや重要性を強く感じます。それぞれの季節の景色や遊び、食べ物やファッションを楽しみ、季節の区切りを生活の節目にしてみました。それが寒いか、暑いかしかなかったら、さうでもないか。また感傷的なこともさることながら、気候変動による災害や農作物の生育不良による食料不足などの問題が懸念されます。CO2削減が世界的に取り組みられています。私たちが一人一人が日常の中で継続的にできる具体的な地道な取り組みを考え実行していかないと、本当に「二季」になってしまうかも……。そのためにはライフスタイルを変える必要性と覚悟があるのかもしれない。

## お知らせ

### ボランティア募集!

傾聴や縫い物、クラブ活動、レクリエーションなどをしてくださるボランティアの方を探しています。

\*お問い合わせは:各施設のボランティア担当まで

### 職員募集!

#### あなたのお力をお待ちしております

現在、契約職員を随時募集しております。より良い施設づくりのために皆様のお力をお貸しください!お待ちしております。

◎介護福祉士の方:時給 1,540円

◎介護職員基礎研修・実務者研修の方:  
時給 1,440円

◎ヘルパー2級・初任者研修の方:時給 1,340円

◎資格のない方:時給 1,290円

\*お問い合わせは:各施設の採用担当まで

### ご意見をお寄せください!

内容に関するご意見ご感想をお寄せください。今後、日常生活の様子やご利用者のお声などを引き続き紹介していきます。皆様のお声をお待ちしています。

\*編集担当:佐野(南陽園)、佐藤(第二南陽園)、  
熊本(第三南陽園)

#### 〈各施設の連絡先〉

##### 南陽園

TEL:03-3334-2159 / FAX:03-3334-1745

##### 第二南陽園

TEL:03-3334-2197 / FAX:03-3334-1748

##### 第三南陽園

TEL:03-3334-2193 / FAX:03-3334-2198

ホームページ:<http://www.yokufuukai.or.jp>

## 敬老会祝い膳

9/18敬老の日は、ご利用者の皆様がこれからもお元気で過ごしていただけるようお願いを込め、お祝い膳の提供をしました。松花堂弁当箱の中には季節の栗を使った栗赤飯をはじめ、銀だらの照り焼き、煮物、だし巻き卵、くるみ和えなどを入れています。おやつには、紅白饅頭をお出して敬老の日をお祝いしました。召し上がったご利用者からは「彩りがきれいね。」「特別感があってうれしいわ。」との声をきくことができました。

これからもご利用者の皆様が「美味しい!楽しい!」と感じていただけるよう、日々の食事提供をしていきたいと思えます。



常食



刻み食



極刻み食



ミキサー食

## 編集後記

- やっと秋らしく涼しくなってきました。秋と言えば、皆さま何を思い浮かべるでしょうか? 秋のランキングナンバーワンはサンマだそうです。2位は紅葉でした。それぞれの秋を満喫できるといいですね。(内海)
- 今年の秋は、敬老会にさざんか連(阿波踊り)の皆さまが来園されたり、10月には3年ぶりの炊き出し訓練を行ったりと徐々にコロナ禍前に戻ってきていることを実感することが多かったです。今後も、お散歩やレクリエーションなど楽しみが増えていければと思います。(佐藤)
- 朝晩は寒くなってきました。油断すると風邪をひいてしまいます。「体を温めよう。」、そんな理由をつけて毎晩、芋焼酎のお湯割りを飲んでいきます。(熊本)

## つながるフェスタ

2023年10月21日(土)、天気は快晴。「第11回浴風会つながるフェスタ」が開催されました。

今年は昨年より規模を拡大し、コミュニティーホール、認知症介護研究・研修センター、本館が会場となりました。コミュニティーホールでは和太鼓演奏や尾藤イサオさんのコンサート、サラリーマン講談。研修センターでは健康測定コーナーや映画上映など。そして本館では浴風会ご利用者と富士見丘小学校の作品展示やワークショップ、綿あめ、作品販売が催され、たくさんの近隣の皆様や子供たちにお越しいただき、大変ご好評をいただきました。

### 作品展示

本館一階では浴風会ご利用者と富士見丘小学校の子供たちの作品が展示されました。広いスペースも多くの作品であっという間に埋まり、その光景は

圧巻。それだけでご利用者と子供たちのパワーに圧倒されるようでした。迫力のある大きな作品から、きめ細やかな手仕事で作られた小さな作品まで。まるで本物の美術館のようでした。南陽園からは昨年も展示した紅葉や秋の風景を描いた大型毛糸アート。そして初挑戦となった第二南陽園ご利用者との共同制作作品を展示しました。「作ること」で終わらず多くの人の目に触れること。見た人の驚きや感想をご自身で聞き、目にする。それがまた生活の楽しみや生きがいにつながっていくこと。地域との関わりは施設にかかせない大切なつながりです。



### 南の森工房売店

展示会場ではご利用者手作りの小物を販売しました。普段は南陽園ロビーで開店している「南の森工房売店」です。日常の作業活動でご利用者とボランティアの皆様で制作した作品を店頭に並べています。バッグ、巾着、ティッシュケース、コースター、におい袋、お手玉、毛糸のたわしに毛糸の小鳥。この日に

向けて皆様一丸となって準備し、その他にもたくさんの商品がそろいました。制作から当日の販売まですべてご利用者が担当します。朝からたくさんのお客様。「これは毛糸をティッシュに巻いて作ったんですよ」生き生きと商品の説明をするご利用者の目もキラキラと輝いていました。自分で作ったものが初めて会った人の手に渡り買っていただける。その喜びと代金は新たな作品と生きがいにつながっていきます。



## アクティブ福祉in 東京'23

第18回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in東京 '23」が9月26日(火)に新宿の京王プラザホテルで開催されました。この催しは都内の高齢者福祉施設・介護事業所が日ごろの取り組みを発表する大会です。当日は、各施設・事業所関係者、学生、一般の方などの来場があり、研究発表では5会場に分かれ、37題の口演発表が行われました。当法人からは、3特養が参加し、1題ずつ口演発表を行いました。

### 南陽園

#### 「コロナ禍で考えさせられたご利用者の楽しみ」～コロナ禍で失った笑顔の為に～

発表者：小林 瞬・上田 茜

コロナウイルスの世界的拡大により今まで当たり前に行っていた、声を出して皆で歌う事や外出支援等の余暇活動ができなくなってしまいました。感染拡大の防止を優先したことにより、ご利用者の大きな楽しみとなっていた余暇活動を大幅に制限せざるをえなくなり、いつしかご利用者の楽しみが減少していくことになってしまいました。コロナ禍でも楽しめる事は何かないか、さまざまな制限の中で「笑顔を引き出せることは何か」を考え余暇活動を実施し、少しでもご利用者がコロナ禍前の笑顔で楽しく過ごせることが引き出せるような取り組みを実施しました。

令和5年5月8日よりコロナ分類が5類に引き下げられたことにより、ご家族との面会も緩和され、ご利用者の笑顔も増えてきたように思われます。今後、感染拡大が発生した際、再びコロナ禍の様に楽しみの少ない生活に戻らないように現状に満足することなく、さまざまな余暇活動を考え提供していける環境を作ることが大事だと改めて考えさせられました。



### 第二南陽園

#### ご利用者が自分らしく生活出来る場のあり方に対する支援 在宅復帰を目指す支援の過程で気づいたこと

発表者：佐藤 多栄子・涌井 雅也

腰椎圧迫骨折での強い痛みがきっかけで、第二南陽園へ入所となったご利用者A様。症状が改善するにつれ、自宅へ戻りたいという気持ちが強くなり、ご家族へ相談の上、在宅復帰の第一歩として外泊を計画しました。また、在宅復帰に向けて、A様に対し、多職種にて様々な取り組みを行いました。ところが、コロナ禍のため、外泊は中止となり、ご家族から今後も在宅復帰への協力は難しいとお話がありました。そこで、コロナ禍という状態も踏まえ、法人内の他施設へ協力をお願いし、自宅で過ごす際のサービスの提案をご家族に行いましたが状況は変わりませんでした。

その後、ご本人・ご家族と話し合ううちに、自宅で生活するという要望から外泊であっても自宅に戻れば良い、個室があり、外出が自由でできるような環境であれば良いとA様の思いが変化していきました。現在は、A様の能力を維持できるような取り組みを継続していくこと、A様の望む環境を相談しながら作っていくことを進めています。この取り組みを行い、反省点もありましたが、チームアプローチにより、小さなことでも少しずつ、施設生活の快適性の向上に取り組んでいくことが今後の大切な課題と感じています。



### 第三南陽園

#### 「キラリ・ホット」を活かした記録を充実させ、 個別性のあるケアプラン作成に取り組んだ結果とその効果について

発表者：熊本 薫・清水 秀則

第三南陽園4階フロアではアセスメントに必要な情報が不足している状況があり、そのためご利用者の適切なニーズを把握できず、結果的に目標が曖昧で抽象的なケアプランとなってしまうことが課題でした。フロアの取り組みとしてキラリ・ホット（キラリ・ホットとはその人が生活の中でキラリと輝き、ほっとする場面を関わりの中で見つけ出しそれを応援すること）を活かした記録方法を周知し、ご利用者と個別に接する時間を設けました。その結果、ご利用者のストレングスに関する記録が充実しご利用者の思いや楽しみを把握することが出来ました。それらの情報をもとにその方のニーズに沿ったケアプランを作成したことで、ご利用者の生活に対する満足度が向上しました。更にご利用者の笑顔や反応をみる機会が増えたことで、職員の意欲が向上しご利用者と積極的に関わるようになり、ご利用者の新たなストレングスに気が付くという相乗効果もみられました。しかし職員からの働きかけに応えることが難しいご利用者に関してはニーズを把握しきれない事例もあったため、今後もキラリ・ホットを活かした取り組みを継続し、ご利用者のQOLが向上するよう努めていきます。



### デザートバイキング

色とりどりのデザートを選びながら、  
美味しい秋を満喫  
しました。



# 南陽 の 四季

### 敬老会

敬老の日おめでとうございます！  
いつまでも素敵な笑顔で  
お過ごし下さい。



## 南陽園

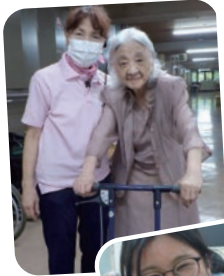
### 秋祭り

秋祭りが行われました。  
様々なゲームに参加し楽しいひと時を  
過ごしました。



### 敬老会

皆様、おめでとうございます！  
さざんか連（阿波踊り）がお祝いに来てくれました。



## 第二 南陽園

### 敬老会

皆様、おめでとうございます！  
さざんか連（阿波踊り）がお祝いに来てくれました。



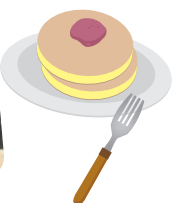
### クッキング★カフェ

ぶどうジャムパンケーキと  
ぶどうのクラッシュゼリーを作りました。



### お月見

ススキとお団子を飾りました。



# 第三 南陽園

## 敬老会

ご長寿  
おめでとう  
ございます。



## リハビリクッキング

プロ顔負けのケーキが出来ました!

## 花火大会

秋の夜長に花火を楽しめました。

## 青空リハビリ

快晴の空の下、気持ち良く  
体を動かされました。



# 炊き出し訓練

第二南陽園では、コロナ禍で中止になっていた炊き出し訓練を  
10月18日に3年ぶりに行いました。

園長を初め第二南陽園の職員と実習生の合計20名が参加しました。



災害による「断水」を想定し、正面玄関にあるかまどベンチを使用して、非常食などを活用しカレーを作りました。訓練を経験していない職員が多かったのですが、事前にかまどの掃除、まき割り、物品の確認などを行っていたため、とてもスムーズに行うことができました。火おこしの時間、お湯が沸くまでの時間や必要な薪の量などを今回の訓練で確認できたことは、実際の災害時に役立つことと思います。